広報かじき
No.359
昭和59年 9月号
発行 加治木町
編集 総務課

ラジオ体操

「あたらしい朝がきた、希望の朝だ……」

NHK夏期巡回ラジオ体操が八月十八日、加治木高校グラウンドから全国に中継放送されました。

さわやかな風と朝やけの中、約三千五百人が、柳川英磨横浜女子短大教授の指導で、大久保三郎慶応義塾中等部講師のピアノに合わせて、元気な掛け声をかけながら汗を流しました。

明るい健康なくらしを願って、昭和三年郵政省簡易保険局により作られたラジオ体操。〝家族そろって健康づくり〟始めませんか。

元気いっぱい（加高グラウンド）

◈ 人口23,034人(＋48) 男10,843人(＋27) 女12,191人(＋21) 世帯数7,897（＋6）59.7.1現在（　）前月比

保健センター着工へ

第四回臨時町議会

第四回臨時町議会が、八月二十四日開催され、保健センター工事請負契約と一般会計補正予算の二議案を審議し、可決しました。

松田建設と契約締結

町保健センター新築工事請負契約は、指名競争入札の方法で行われ、松田建設株式会社と六千二百九十万円で契約締結することが可決されました。

また、電気設備工事は有限会社増田電気と、給排水衛生設備工事は迫村工業株式会社とそれぞれ契約されました。

工期は、六〇年二月二十八日までの百九十日間となっています。

健康づくりの拠点に

保健センターは、母子健康診査室や、成人病健康診査室、栄養実習室などを備えた鉄筋コンクリート造二階建て、五五一・二〇平方メートルで、役場北側グラウンドに建設されます。

完成後は各種の予防接種や胃がん検診などを実施したり、健康教室を開催する町民の健康管理を進める拠点として活用されます。

保健センター用地

加治木小学校用地

加治木小学校に ゆとりのスペースを

一般会計補正予算

一般会計補正予算は、加治木小学校建設事業に伴うもので、歳入歳出それぞれに一千三百八十万円を追加し補正後の一般会計の予算総額は三十七億五千百五十七万八千円となりました。

文部省は、これからの学校施設づくりとして、教育学習方法の多様化に対応した施設、またゆとりと潤いと文化性を備えた施設づくり、つまり多目的に使用できるスペースが必要であるとの見解を示し、町では国庫負担事業の認定申請を行い加治木小学校に二二七平方㍍のゆとりのスペースを建設することが認められたものです。

今回の補正では、認定されたスペースと町単独で施行する七七平方㍍の工事費のうち、今年度建設する四〇㎡分が追加されました。

加治木小学校は、五十九、六〇年度の二カ年で普通教室十二、特別教室七などが建設されます。

小型ポンプ・西別府分団 ポンプ車・中央分団 が優勝

町消防団操法大会

町消防団（大吉操団長、団員百六十一人）では、操法大会を消防法施行記念日の八月一日、町役場グラウンドで開催しました。

大会では、郡山利春前団長の勇退に伴う辞令交付や、消防庁長官表彰などの伝達が行われた後、小型ポンプの部とポンプ車の部で日ごろの訓練の成果を競い合いました。

表彰を受けられたかたがたと、結果は次のとおりです。

▽消防庁長官表彰

永年勤続功労章　副団長　大吉操

▽日本消防協会会長表彰

勤続章（三十年）

錦江分団部長　澤崎　菊男
錦江分団部長　蔵満　洋一
錦江分団団員　池田　三郎

▽鹿児島県消防協会総裁表彰

（功績章）

西別府分団班長　桃木野　透
西別府分団団員　内村　清美
錦江分団団員　江口　昇
辺川分団団員　中野　次男

（精績章）

中央分団団員　黒川　龍男

（勤続章・三十年）

錦江分団部長　澤崎　菊男
錦江分団部長　蔵満　洋一
錦江分団団員　池田　三郎

（勤続章・二十年）

西別府分団班長　桃木野　透
西別府分団団員　内村　清美
錦江分団団員　江口　昇
辺川分団団員　中野　次男

▽鹿児島県知事表彰

（勤続章・十年）

中野分団副分団長　富永　光志
中央分団団員　富安　龍司
中央分団団員　森田　正人
錦江分団団員　新城　秀吉

◎操法大会

▽小型ポンプの部

優勝＝西別府分団、二位＝中央分団、三位＝小山田分団

▽ポンプ車の部

優勝＝中央分団、二位＝西別府分団、三位＝錦江分団

きびきびした動作で……

点検は防火の はじまり、しめくくり

元気で長生きを

9月15日は敬老の日

九月十五日は敬老の日です。

世界保健機関（WHO）が発表した今年の統計報告によれば日本はスイスをしのいで世界一の長寿国となったとされています。

また、厚生省が作成した「戦前・戦後の家族のライフサイクルの変化」をみると、寿命は戦前と戦後では男性十三・五歳、女性で十八・五歳延びています。

町一番の長寿は、上木田の扇薗カ子チヨさんで一〇三歳。元気に敬老の日を迎えられました。

九十歳以上の長寿者は四十五人です。これからも、もっともっと長生きしてください。

扇薗カ子チヨさん

敬老の日によせて

町長　東　國雄

九月十五日の「敬老の日」にあたり皆様の御長寿を心からお慶び申し上げます。

明治・大正・昭和の三代にわたり、郷土・地域社会の発展に大きく貢献され、強く生き抜いて来られた皆様がたでございます。

私たちは、皆様がたが築きあげられた、このすばらしい郷土で生活できることを心から誇りに思いこれらを後世に伝えるために精いっぱいの努力をしてまいりたいと思います。

また、お年寄りの皆様が、生きがいのある生活ができますためには、保健医療対策、社会活動への参加など、まだまだ多くの課題が残されています。

これら課題との取り組みはもちろんのこと、私たちも力いっぱい老人福祉対策にがんばります。

今後とも、ますますお元気でさらに長寿を保たれ、加治木町の発展を温かく見守ってください。

最後にあらためて皆様がいつまでもお健やかにお過ごしくださることを、私たち町民みんなでお祈りいたします。

慶祝　五十九年九月一日　加治木町　長寿番付

〈東〉

横綱　扇薗カ子チヨ（一〇三）上木田

大関　金沢　清次（九八）江　湖

関脇　川原　ワイ（九五）茶碗屋

小結　假屋ケサギク（九五）岩原西

前頭　竹下　アイ（九四）南塩入

前頭　今村　クニ（九四）須崎

前頭　神村　喬成（九四）萩原

前頭　前畠アグリ（九三）下嶽

前頭　野口伊四郎（九三）望岳園

前頭　庄村　栄二（九三）今町

前頭　山内　テル（九三）札立

前頭

湯川　フサ（九二）弥勒
岩元　恒（九二）川原
中野ケサグイ（九二）辺川下
森木　イト（九二）桃木野
小迫嘉太郎（九一）端山
川崎　清二（九一）柳田
榎田嘉太郎（九〇）楠原
春田　雪枝（九〇）西諏訪
福徳　トヨ（九〇）望岳園
猪俣　清次（九〇）高井田
今薗　エイ（九〇）西反土後

〈西〉

横綱　前畠半左衛門（九九）下嶽

大関　隈原　ナツ（九八）隈原上

関脇　上小牧モト（九五）里ノ下

小結　川畑　トモ（九四）望岳園

前頭　川元　親恵（九四）札立

前頭　永井　タカ（九四）中塩入

前頭　曾木　ヒデ（九三）柳田

前頭　溝口　ノキ（九三）望岳園

前頭　立元金之助（九三）垂ノ口

前頭　宮田　アサ（九三）岩原東

前頭　川元キシヨ（九二）札立

前頭

松下アグリ（九二）小陣
服部　タカ（九二）望岳園
内村　笑蔵（九二）札立
高木　モヨ（九二）望岳園
宮崎　スエ（九一）西反土後
岩下　ヒデ（九一）竹下
尾形　惟孝（九一）中塩入
園田　ヤヘ（九〇）望岳園
重森ケサミツ（九〇）反土黒川
岩澤　トメ（九〇）西浦西
川添　新（九〇）日木山黒川
小門口モト（九〇）望岳園

錦江湾に映える4000発の花火

第18回 夏まつり

県警バンドを先頭に

三十二団体 二千人がパレード

牧村三枝子さん

踊りの輪

町商工会主催の第十八回夏まつりは、八月三日と四日の二日間、蒲生田通りと加治木港を会場に行われ、町内外から詰めかけた約二万人の観衆は四千発の花火と二千人の踊りに見入っていました。

一日目は、加治木港の特設舞台で日本舞踊やカラオケ大会が行われ、また、錦江湾に映える四千発の花火が観衆を魅了しました。

二日目は、パレードに先立ち、牧村三枝子を迎え老人慰問ショーが福祉センターで行われました。

恒例のパレードは、県警バンドを先頭に役場から出発。三十二団体・約二千人の踊り連が、蒲生田通りに繰り出し「ハンヤ節」や「オハラ節」を披露しました。

加治木港で行われた歌謡ショーでは、牧村三枝子がヒット曲「みちづれ」や新曲をしっとりと歌いあげ、観衆の盛んな拍手を受けました。

打ち上げ花火

カネと太鼓の勇壮な響きがにぎわった太鼓踊り

うら盆明けの伝統行事、太鼓踊りが八月十六日、四地区保存会百人の踊り隊によって勇壮に競演され、カネと太鼓の音が町じゅうに響き、終日にぎわいました。

午前八時花火を合図に、木田、反土、西別府、小山田の順に春日神社境内で次々に踊りを奉納しました。

この模様は、NHKの金井アナウンサーの紹介で中継放送されました。

十時からは、仮屋馬場で打ち上げを披露。大人にまじって前田博己さん(三歳)や、前田尊子さん、隈原直樹くん(五歳)なども武者姿で、小さなカネを手にいっしょうけんめい踊り沿道の拍手を浴びていました。

勇壮に踊る

保健衛生 行事日程

◎三か月児健康診査
十月一日(月) 福祉センター
受付…十三時三十分～
(六月四日～七月一日生れ)
◎乳児・産婦健康診査(兼秋の赤ちゃんコンクール)
十月九日(火) 十一日(木)
十二日(金) 福祉センター
受付…十三時三十分～
(一月一日～六月二十日生れ)
◎三種混合ワクチン予防接種
(一期三回目、二期)
十月九日(火) 福祉センター
十三時三十分～十四時
竜門小学校
十三時三十分～十三時四十五分
十月十二日(金) 町営体育館
十三時三十分～十四時
永原小学校
十三時三十分～十四時四十五分
(接種日当日、生後二十四日から四十八日の一日前までの人)
※二期については、生後六十六日の一日前までの人も受けることができる。
◎母親学級
十月十七日(水) 福祉センター
受付…十三時三十分～
◎妊婦健康診査 福祉センター
十月三十一日(水)
十一月一日(木)
受付…十三時三十分～
※母子健診、予防接種には必ず母子手帳を持参しましょう。

マダイの稚魚五万匹を放流
錦海漁協

錦海漁協（春山鉄翁組合長）では八月十日、マダイの稚魚五万匹を姶良町・松原沖に放流しました。

放流する東町長

これは、錦江湾をマダイの豊庫にしようと県が五十五年度から五か年計画で進めてきた事業の一環として実施したもので、今年で五回目となりました。

春山組合長や東町長、松田理事らは、御神酒をささげ「大きく育って」と祈願した後、県水産試験場栽培漁業センターでふ化した、体長約七㌢の稚魚を次々に放流しました。

湾内では三、四㌔に成長したマダイが水揚げされており、順調な成育をみせています。

放流された五万匹の稚魚のうち一万五千匹には標識が付けられ、成長の状況を調査することにしています。

また、漁協では「体長十五㌢以下のものは再放流して欲しい」と呼びかけています。

講演とスポーツで親ぼく
青少年ふるさと大会
高校生クラブ育成者大会

地域の中・高校生の連帯性を育て、ふるさとづくりに参加する青少年の育成を図ろうと第二回青少年ふるさと大会と第一回高校生クラブ育成者大会が八月十日、加治木中学校で行われ約八十人が参加しました。

参加者は、京セラ陸上競技部の浜田安則監督の「青少年におくる長距離にかけた青春のことば」と題する講演を聞いた後、ソフトボールとバレーボールを行い親睦を深めました。

ソフトボールで交流

「むら自慢づくり」
キャラバン隊が来町

農村振興むら自慢づくり強調月間の八月二十日、「むら自慢づくり」キャラバン隊一行が来町され、鎌田知事からのメッセージを東町長に伝達しました。

これは、農村地域住民のむら自慢づくりへの意欲醸成を図るとともに、農村振興運動の趣旨を広く県民にアピールしようと県内各地を巡回している一行十人が本町を訪れたものです。

町営体育館で行われた伝達式では、楠原の榎田静男・集落推進員が「私達の集落では〝大根〟をむら自慢と決め、畜産農家と協力し土づくりを行ったり、土地や機械の効率的利用を図っています。今後も話し合い活動を進め、地域ぐるみで村づくりに取り組んでゆきたい」と決意を述べました。

メッセージを伝達

郷土史探訪 15
獺貫切貫

日本は今日、世界有数の経済大国としていろいろな工業製品を世界各地に輸出していますが明治以前の日本はまだ封建社会の中にあって、経済基盤を支えていたのは農業経済でした。

その中で米は農業の最も重要な産物の一つで、従って米の増産は当時の為政者にも農民にも最重要な課題でした。

加治木でも、米の増産のために先人によるいろいろな努力が払われてきました。

木田の水田は、昔は水不足で米の生産は思うように伸びませんでした。

そこで、池田助右衛門という人が、木田水田の水不足を解決するために、獺貫滝の西方の岩石をくりぬいて疎水する計画を立て、万治二年八月（一六五九年）に工事着工、寛文三年三月（一六六三年）に完成しました。

工事期間は三年八か月と割合に短期間でしたが、当時の土木技術の水準を考えると、池田助右衛門を始め、工事に従事した人たちの苦労は想像に絶するものがあったと思われます。

このずい道の長さは二千八㍍、水路四・九㌔㍍で、灌漑面積は二七〇町歩におよび、米の増産は一千石に達したという記録が残っています。

この先人の功績を顕彰するために、明治四十四年宝現神社の入口左側に池田助右衛門顕彰碑が建設され、毎年四月十一日に例祭が行われることになっています。

ただ残念なことは、池田助右衛門の墓と子孫の方々の所在が確認できないことです。

この先人の偉業に心から感謝したいと思います。（林力夫）

郡民体育大会で二連覇
ソフトボール混成チーム

優勝したソフトボール混成チーム

五十九年度の姶良地区郡民体育大会は、八月四日と五日の両日東部地区を会場に開催され、ソフトボール混成の部で加治木町チームが二年連続郡一に輝きました。

ソフトボール混成の部の決勝戦は、八月五日隼人工業高校グラウンドで行われ、加治木町チームは国分チームと対戦。六対〇で下し優勝しました。

加治木町チームは、指宿市で行われる県民体育大会（九月二十二日、二十三日）に出場します。

健闘を期待しましょう。

26チームが腕競う
町弓道大会

町弓道大会は二十六チーム七十五人が参加し、七月二十一日加治木工業高校弓道場で行われました。

団体の部の結果は次のとおりです。

▽中学男子の部
優勝…加治木中D
二位…加治木中B
三位…加治木中C

▽高校男子の部
優勝…加治木工業B
二位…加治木高校A
三位…加治木工業A

▽学生女子の部
優勝…加治木工業G、二位…加治木高校、三位…加治木中A

▽一般の部
優勝…町役場A、二位…教職員、三位…町役場C

精神を統一

諏訪チームが連覇
第11回ちびっ子ソフト大会

第十一回ちびっ子ソフトボール大会（町商工会青年部主催）が、八月十二日町営グラウンドで行われ十一チームが参加しました。

決勝戦では、諏訪チームが港町チームを三対一で破り五回目の栄冠に輝きました。

結果は次のとおりです。

◎決勝戦
諏訪002100×3（優勝）
港町1000000 1（二位）

◎三位決定戦
岩原西30000131 8（三位）
黒　川23000000 5（四位）

熱戦を展開

三十一チームが熱戦
町剣道錬成大会

第六回町剣道錬成大会が七月二十二日、町営体育館で行われ、盛んな声援を受け三十一チームが熱戦を展開しました。

結果は次のとおりです。

◎団体戦
▽小学生の部…**優勝**加治木剣道スポーツ少年団A②加治木剣道スポーツ少年団B③柁城剣道スポーツ少年団B・警精館スポーツ少年団
▽中学生の部…**優勝**加治木中B②加治木中G③加治木中C・加治木中E
▽高校生の部…**優勝**加治木高校A②加治木高校D③加治木工業C・加治木高校B
▽職場対抗の部…**優勝**新富剣友会②加治木警察署③姶西消防組合

◎**スポーツ少年団対抗試合**
優勝…加治木剣道スポーツ少年団
二位…警精館スポーツ少年団
三位…柁城剣道スポーツ少年団

するどい気合い

農林業労働者
災害共済に加入を

現在の農業、林業は動力機具などによる作業が急激に普及してきましたが、一方では作業中負傷・疾病など不慮の災害も多発しています。

町では、農林作業中に災害を受けた方々を救済するため「農林業労働者災害共済」制度を設け、万一の事故に備えて積極的な加入をすすめています。

五十八年度町内では、十九件の農林作業中の事故が発生し、この共済制度から休業共済見舞金四十四万八千二百円（十七件）や医療共済見舞金十九万五千一円（十八件）、障害共済見舞金二十一万円（一件）などが支払われました。

事故の発生原因を見ると、鎌や造林鎌によるものが五件、トラクター、耕運機によるもの五件、草払機やチェンソーによるものが三件などとなっており、事故は身近かな所で起こっています。

「農林業労働者災害共済」への加入者は、五十八年度で七百三十八世帯、一千四百九人。

万一の事故に備え「農林業労働者災害共済」に加入しましょう。

お問い合わせは役場経済課へ。

明るい農作業ができるようお互いに事故防止に努めましょう。

六年女子バタフライで三人が記録更新

水泳会　記録

第十九回小・中学校水泳記録会が、七月二十四日加治木中学校プールで行われました。

この日は、六年女子の五〇㍍バタフライで東川内かおりさん（竜門小）ら三人が記録を更新するなど十個の新記録が生まれました。

新記録は次のとおりです。

▽六年女子五〇㍍自由型
東川内かおり（竜門小）　三十二秒九
▽五年男子五〇㍍バタフライ
川原修一（竜門小）　四十六秒三
▽六年女子五〇㍍バタフライ
東川内かおり（竜門小）　三十八秒三
下小牧美香（錦江小）三十九秒〇
出木場ゆき（柁城小）四十二秒五
▽六年女子一〇〇㍍平泳ぎ
出木場ゆき（柁城小）　一分四〇秒〇
▽中学女子五〇㍍背泳ぎ
満留美鈴（加治木中）四十一秒六
▽中学女子五〇㍍バタフライ
福本知子（加治木中）　四〇秒二
▽小学女子二〇〇㍍リレー
川原まゆみ、高田美保、福園雅美、東川内かおり（竜門小）　二分三〇秒四
▽中学女子二〇〇㍍リレー
福留美鈴、福本知子、永山里美、小川睦美（加治木中）　二分二十七秒四

記録更新を……

柳川先生の指導で

ラジオ体操講習会

NHK夏期巡回ラジオ体操は八月十八日、加治木高校グラウンドから全国に中継放送されました。

放送終了後、学校や職場、地域の代表者約五十人を対象にラジオ体操特別講習会が開かれました。

岩原東に住む娘さんの家に遊びに来ていた永山のぶえさん（七十四歳）も受講者に混じって、柳川英磨横浜女子短期大学教授の指導で一つ一つの体操について手足の伸ばし方や姿勢、リズムの取り方などを熱心に研修していました。

講習会受講者には「正しいラジオ体操の指導、普及を…」と修了証と指導者証が渡されました。

非行　何が彼らをそうさせるか

自立へのステップ

―第2反抗期―

仮に、わが子がたばこを吸っているのを見かけたとします。やめさせるには、親としてどう対処するのが良いとお考えですか。

有無を言わせず、絶対いかんといって平手打ちの一つもくわせますか。未成年者の喫煙は禁じられていると、法律を盾にとって説得するでしょうか。あるいは体に良くないからと、健康面から迫るでしょうか。

どれが最良の方法かは、一概に言えません。家庭環境や親子関係、子供の成長段階などによって、対処の仕方も違ってくるからです。

◇ひとつ間違うと非行に陥る―

非行に走る少年たちの二人に一人は中学生です。

年齢的には十二、三歳から十四、五歳、精神的な発達段階からすると、第二反抗期にあたります。

思春期あるいは第二自己主張期とも呼ばれるこの年齢は、一人前の人間として自分の存在を周囲に認めさせたいという欲求が非常に強くなっていきます。

それは超自我の目覚めであり親から離れて精神的な自立をめざす一つのステップだといえます。

「もう、親の指図を受ける年ではない」「親の言うとおり従っているなんて、子供っぽくて」――こうした反発心自体は、決していけないことではありません。

自主性の芽生えという点では望ましく、むしろ反抗しない子供を心配したほうがいいくらいです。事実、我が子の非行を知らされ〝素直でおとなしいうちの子に限って…〟と絶句する親が少なくないのです。

要は、第二反抗期（第二自己主張期）を、どう体験させるかということです。自立期ではあるものの社会的にはまだ未熟なため、ひとつ間違うと非行に陥りやすいというのが、この年代の大きな特徴です。

◇他律から自律への転換期――

中学生ともなると、たばこを吸ってはいけないことぐらい百も承知しています。親に見つかればしかられることも、よく分かっています。では、なぜ、あえてたばこを口にするのでしょうか。

たばこに限らず、この年代の子供は、いわゆる〝世の中の決まり〟をあえて破り、大人がマユをひそめるようなことを平気でするようなことがあります。反抗期といわれるゆえんですが、これは、自己主張の表れでもあるのです。

世の中の決まりだから、親が言うから従うというのではなく、体験を通して自らの意志で判断し、納得ずくで受け入れようとする心が働いているのです。

他律から自律への転換期――頭ごなしにどやしつけるだけでは事がすまないのもそのためです。

このような、子供たちの心理状態に着目し、どう言えばこの子の心の中に響くのだろうかということを、いつも考えながら接することが大切です。

本を読む子供の声が地域に

朝読み夕読み事業

木田地区と札立自治会では、町の朝読み夕読み実践活動重点モデル地区の指定を受け、八月一日から朝と夕方子供達の本を読む声が地域に響いています。

札立自治会木村繁自治会長）では八月一日の朝六時四十五分に白尾一彦君（中三）が「おはようございます。これから朝読みを始めます」と放送した後、鬼丸純子さん（柁城小五年）が「大陸は動いている」を、児玉えりなさん（柁城小二年）が「スイミー」をそれぞれ朗読しました。

また、木田地区でも八月一日朝六時から、岩崎貞光錦江三地区公民館長が趣旨説明の放送後、水流添真由美さん（錦江小三年）と水流添佐由利さん（錦江小一年）が朝読みを行いました。

札立の木村繁自治会長は「昔は家で読んでいたものでした。生活のけじめをつけ、本読みが上手になって欲しい。また、この活動を通じ友達になって欲しいですね」と話されました。

朝読みを（木田地区）

鬼丸純子さん（札立）

児玉えりなさん（札立）

昔懐しいだご汁に舌鼓

西反土・川原自治会

町の「地域ぐるみふれ合い事業」モデル地区の西反土・川原自治会では七月五日、子供達とお年寄りが協力し大きな七夕飾りを作り、地区内二か所に飾りました。

参加した約六十人は、七夕飾りを作った後、お母さん方が準備した昔懐しい「だご汁」に舌鼓を打ちました。

小麦粉で作っただんごとカボチャや里芋、ナスなど季節の野菜が入った「だご汁」の味はまた格別で、なかには四杯もおかわりする子供もいました。

篠崎近老人会長は「次は十五夜を取り組み、子供達とふれ合いを図りたい」と話されました。

「なつかしいネ」

青少年の豊かな心を育てよう ⑰

生活にけじめのある青少年を育てよう

＝朝読み夕読み事業＝

町では「かごしまの子ども朝読み夕読み事業」を今年度から青少年育成の一環として、全町的に推進することになりました。

木田地区・札立自治会の地域ぐるみの協力を得て、朝読み夕読み実践活動重点モデル地区として、八月一日から小・中学生の元気な声が広がりました。

この事業は二か年継続です。

国分市・姶良町では、昨年から取り組み「規律正しい生活習慣、語いの豊富な表理力、文章力及び地域の活性化と連帯感」などの効果がみられているとのことです。そして、現在でも子供達の手で毎朝毎夕の行事として続けられているそうです。

なお、栗野町も今年度から実施しています。

朝読み夕読み事業は、家庭・学校・社会が一体となり、地域ぐるみで青少年の健全育成にあたり、テレビに流されてしまいがちな子供達に、規則正しい生活習慣と読書習慣を身につけさせるため「声に出して読む」ことの意義と効用を見直し、取り組むことを趣旨としています。

妙円寺詣り、曾我どんの傘焼きと並び、古く元禄十四年より郷中教育の青少年の三大行事の一つであった「赤穂義士伝輪読会」（旧暦十二月十四日）が、文武両道に秀でた青少年を錬成する一環として、青少年の教育に取り入れられていました。

本町でも、郷中教育の伝統として受け継がれていた朝読み輪読会などを現代に生かし、地域社会に活力のある教育的風土を醸造してゆくため、町内小・中学校の協力を得て重点モデル校区（地区）を指定し「朝読み夕読みの実践活動」「地域ぐるみ読書会活動」「朝読み夕読み啓発活動」を展開し、子供の豊かな人間形成と地域住民の青少年育成の関心を高め、全町に波及させることを目的としています。

川野保育所に幼年消防隊が誕生

川野保育所（土橋習一理事長、園児九十人）に町内でも初めての幼年消防隊が誕生し、八月六日結成式が行われました。

結成式には五歳児二十八人が、そろいのハッピ姿で参加し、隊長の大迫俊貴くんの号令で、番号や敬礼などを披露した後、全員で「私達は、絶対に火遊びはしない、良い子になります」と誓いのことばを唱和しました。

幼年消防隊の目的は、幼年期に消防の研修を行い、火災に対する正しいしつけを身につけさせ、園及び各家庭からの火災の減少を図るとともに、人命の尊さと財産の保全を図る社会人としての素地を育成することを目的としており、職員・父兄が力を合わせ、今後避難訓練や消防署の見学などの研修を行ってゆくことにしています。

来年一月に開催される町出初め式では、幼年消防隊の勇姿が見られることでしょう。

元気に「敬礼」

全国人権擁護委員連合会 会長表彰を受賞

宮城俊治さん（下浜）

人権擁護委員の宮城俊治さん（下浜）が八月七日、県人権擁護委員連合会総会の席上、全国人権擁護委員連合会長表彰を受けられました。

宮城さんは、昭和五十年十二月に人権擁護委員に就任されて以来、八年以上も活動を続けられており、その功績が認められ今回の受賞となったものです。

おめでとうございました。

竜門の会

鎌髭を折りし日照雨や太鼓踊　川崎　黒兎

走り根の階なす山路蟬時雨　横山　江南

茶畑の果ては怒濤や秋つばめ　三浦　ゆう

歓声も共に打ち揚く花火かな　高木　正男

炎帝に供へてついに小作の身　鶴田　耕

空き缶はクズカゴへ

炎昼の潮干の浜や船眠る　柳田　稔

炎昼に年令偽りて献血す　恒吉　斗南

旱魃の畑に一荷の水担ぐ　加藤　白柳

軒に吊る十薬風を誘ひけり　古江　重美

打水のしみる庭石枯山水　川上　節子

山せみの冠ゆるる夕日影　内田美津代

亀並ぶ壁に西日のみやげ店　須藤　洋子

日曜在宅のお医者さん

十月七日
大川医院（内科）二一一二〇三二

十月十日
川畑医院（内科）三一一四九九

十月十四日
牧　医院（内科）三一二三三二

十月二十一日
上妻医院（内科）二一二四二一

十月二十八日
鬼丸医院（小児科）二一〇三〇八

▽原則として診療時間は、午前九時より午後五時まで。また、当日の往診ならびに緊急以外の受診はご遠慮ください。

薬草 知られざる効き目 ⑫

ミョウガ

ミョウガは、熱帯アジアの原産で、今は広く人家に栽培されている。その芳香が涼感をそそり、日本人好みの食物となっています。

盛夏に白い花を咲くのが「夏ミョウガ」、「秋ミョウガ」は九月下旬やや細身の黄色の花をつけます。味は秋ミョウガがよろしいようですが…。

人里のミョウガより、山奥のものがはるかに味がすぐれております。人里近くのものは、梅酢に漬けても色は変りませんが深山のミョウガは、梅酢に漬けると、みるみるうちに紅色に変ります。大自然のミネラルをたっぷり含んでいるせいでしょうか。野生の風味と「コク」があります。

この梅酢漬けは、ミョウガの保存漬けになります。細く刻んで、冷そうめんの薬味に、朝のみそ汁に、夕げの煮魚に…日本料理の脇役として、すばらしい存在です。

利尿、生理不順に根を煎服しつき目、結膜炎に根のしぼり汁、ミョウガン子の汁がよろしい、と言われておりますが…。

ミョウガン子を二つ割りにしてテンプラにすれば格別の味、つい食べ過ぎて「のぼせ」ますので、ポーッとなって物を忘れるとは、まことなりしや。

五、六個も食べると高血圧症の方は、てきめんに具合の悪くなるのはほんとです。ご用心あれ…。

人知れぬ
花いとなめる
茗荷（みょうが）かな　草城

（筆者　上萩大治）

※無断転載は、ご遠慮ください。

お知らせ

六十年歌会始のお題は『旅』

六十年歌会始のお題が「旅」と定められました。

詠進歌の詠進要領は、次のとおりです。

▽詠進歌は、自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限ります。

▽用紙は、半紙（習字用の半紙＝白紙＝がよい）とし、毛筆で自書してください。

（病気などのため毛筆で自書することができない場合は、代筆しても差し支えありませんが、代筆の場合、すべてその理由を書いた別の紙を添えてください。）

盲人の方は、点字で詠進しても差し支えありません。

▽書式は、半紙を二つ折りにし、開いて右半面にお題と歌、左半面に郵便番号、住所、氏名（本名、ふりがなつき）、生年月日及び職業（なるべく具体的に）を書いてください。

▽詠進の期間は、九月一日から十月十一日までとし、郵送の場合は消印が十月十一日までのものを有効とします。

▽郵便のあて先は「〒100東京都千代田区千代田一番一号　宮内庁」とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。

▽疑問な点があれば九月末日までに、宮内庁式部職あてに、郵便番号、住所、氏名を書き、返信用切手をはった封筒を添えて直接お問い合わせください。

十月一日は「法の日」です

政府は、十月一日を「法の日」と定め、国を挙げて法の尊重、基本的人権の擁護、社会秩序の確立の精神を高めるための日としました。

裁判所では、検察庁、法務局、弁護士会の協力を得て、十月一日からの一週間を「法の日」週間として次の行事を行います。

▽公判の傍聴、裁判所の見学

公判は、特別の場合を除いていつでも傍聴できますが、特に「法の日」週間中は、公判の傍聴や裁判所の見学をお勧めします。

▽講演会

中学校、高等学校、婦人会などの団体からのご希望があれば講師を派遣します。

▽無料法律相談所の開設

日時…十月六日（土）

午前十時から午後三時まで

場所…鹿児島市山下町

自治会館第五会議室

担当者…弁護士・裁判所及び法務局職員

※詳細は、鹿児島地方家庭裁判所・総務課庶務係（電話〇九九二―二二―七一二一、内線三三五または三五五）にお問い合わせください。

指定工事店の電話番号が変更に

水道工事店、（有限）尚武組の電話番号が、次のとおり変更になりました。

（旧）三―三七五三

（新）三―三四二六

✱……✱ うぶ声 ✱……✱

出生児　保護者　自治会

山崎　源盛　新一郎　中塩入

河野　遼太　寛二　天神

新原　博史　昭博　中浜

上城　礼名　博　上浜

東村　望　光男　岩原西

日高　健　照夫　萩原

久米村良美　義人　垂ノ口

中森あかね　隆昌　春日団地

村山　貴史　利春　柳田

物袋　裕美　義和　西塩入下

三原　基　良英　東塩入

増田　麻未　博文　田中

中村　紘基　伸一郎　江湖

勝山　隆文　則文　中福良後

住澤　雄大　裕治　西江口団地

川村　洋貴　芳郎　萩原

横山　勇太　勇　赤坂

橋本　隆志　博文　豊町

山口　亜衣　厚志　吉原

宮田めぐみ　博文　蔵王団地

羽生　仁一　仁久　須崎

北山　英聖　勝己　赤坂

宮内佳代子　勝則　赤坂

福末　まみ　勝美　岩原西

榎谷　直人　治　蔵王団地

榎谷由美子　秀樹　蔵王団地

▽八月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

心配ごと相談

毎週木曜日　午前中

福祉センターで

応じています。

お気軽にどうぞ。

ご寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

一万円　霧島町　本假屋テル（叔母スエ八四）望岳園

三万円　萩原　萩原美和子（夫満雄七二）

三万円　里ノ下　松尾利子（夫利光六一）

三万円　上木田　桑畑隆征（祖母ツネ九〇）

五万円　今町　竹内親男（妹千代子六〇）

三万円　永原　東隆雄（母マサ七七）

二万円　日木山団地　福島正康（母黒木スエ八七）

五万円　西塩入上　岡山勇子（夫秀康六六）

三万円　楠園　田丸ミツエ（夫米千七四）

三万円　吉原　林力夫（母クン八七）

三万円　今町　西田フヂ（夫虎吉八一）

二万円　石野　石野親治（母イト八六）

五万円　岩原西　有村睦子（夫宗吾六三）

＝町育英奨学資金へ＝

二万円　吉原　林力夫（母クン）

▽八月二十日までのご寄付を掲載いたしました。

記事訂正とおわび

八月号の記事中誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正します。

▽九ページ「バレーボール審判講習会」の記事の開催日

八月二十二日→八月八日

▽十ページ「うぶ声」の記事の出生児

竹内雄亮→竹之内雄亮